

令和5年度行政評価（令和4年度対象）シート

政策6 豊かなところとからだをはぐくむまちをつくる

施策601 生涯学習の充実

主担当課：生涯学習課

○施策の目指す姿

生涯学習に関する講座と情報発信が充実し、学びを通じて広く市民によるこびや生きがいがはぐくまれています。

○施策の展開

- 生涯学習講座の開催
- サタデーキッズクラブの開催
- 生涯学習を担う地域人材の育成・活用
- 平和学習の機会提供
- 公民館等の整備・管理
- 地域に根ざした図書館づくり

○令和5年度 事務事業評価実施事業（令和4年度対象）

- 生涯学習推進費
- 平和祈念式開催費
- 平和学習推進費
- 夢広場はるひ費

I 施策の関連データ・施策を取り巻く状況

○施策の関連データ

図書館来館者数（人）※清須市調べ	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
	194,403	180,434	98,279	129,461	155,741
生涯学習講座の延べ参加者数（人）※清須市調べ	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
	1,750	1,629	905	1,017	1,588

○施策を取り巻く状況（基本計画策定時からの変化など）

- 生涯学習講座については、講座の終了後等にアンケートを実施し、市民ニーズの把握に努めているが、近年は趣味、教養社会問題、家庭など、市民の関心が多様化し、市民ニーズも多岐に渡っている。
- 令和3年3月に「清須市生涯学習推進計画（中間見直し版）」を策定し、生涯学習等に関する取組を総合的・計画的に推進している。
- 令和元年度に蔵書点数が15万冊に到達し、令和4年度末には約16万3千冊となった。除架および除籍の労力が増えている実情を踏まえ、蔵書計画の見直しが必要になっている。将来的には、学校連携も視野に入れた電子書籍・電子図書館の導入を検討したい。
- 市立図書館の施設・設備において経年劣化等がみられるため、空調設備やエレベーター改修工事などを計画的に実施していく必要がある。

II 達成度指標の状況

※達成状況については、目標値を上回る見込…◎、目標値を達成見込…○、目標値の達成が難しい見込…▲、現状値を把握していない…ーとしている。

達成度指標	基準値	後期計画目標値	実績値			目標値の達成見込
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	
市民満足度調査における満足度	24.6% (平成30年度)	↑ (令和5年度)	—	22.2% (令和3年度)	—	—
生涯学習講座の参加者満足度	97.9% (平成30年度)	→ (令和6年度)	91.4% (令和2年度)	88.1% (令和3年度)	97.0% (令和4年度)	◎
図書館の来館者数	194,403人 (平成30年度)	200,000人 (令和6年度)	98,279人 (令和2年度)	129,461人 (令和3年度)	155,741人 (令和4年度)	▲

後期計画期間の達成状況の分析	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習講座アンケート調査により、全ての講座において講師が丁寧に教え、対応したため、満足度が高かったと推察する。 清須市図書館については、令和4年度も新型コロナウイルス感染症対策を継続しながら開館を続けてきた。開館10周年の節目を迎え、講演会や児童向けのイベントなどを実施したこと、また、さまざまな制限も緩和の方向に向かったことにより、入館者は前年比20.3%増加、貸出人数は前年比5.9%増加した。 インターネットで予約し、サービスポイントで受け取るという利用スタイルが定着している。また、返却は自宅近くのサービスポイントや返却ポストを利用される方も多く、サービスポイントを活用いただけていると感じる。
----------------	--

III 令和4年度の主な取組結果

- 【生涯学習推進費】
 - 清須キッズアートラボなど、14教室・16コースによるサタデーキッズクラブを開催した。また、生涯学習講座として25講座（家庭4講座、現代的課題2講座、歴史2講座、教養7講座、趣味5講座、親子5講座）を開催した。
 - 【平和祈念式開催費】
 - 平和祈念式は新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止したが、8月の平和月間には、市内4か所に記帳所を設置した。
 - 【平和学習推進費】
 - 清須市立小学校児童平和推進派遣研修は、市内小学校6年生児童の代表者22人を広島平和記念式典に派遣した。
 - 市内小学校6年生に対して、書道作品を募集し、また市内小中学校に折り鶴作成事業を実施した。8月に原爆に関するパネルとともに市立図書館に展示した。
 - 【夢広場はるひ費】
 - 開館10周年記念として様々なイベントを行い、図書館への来館、利用促進を図った。（図書館主催のイベント数：29回）

IV 事務事業評価

※達成状況については、目標値を上回る…◎、目標値を達成…○、目標値を下回る…▲としている。

事業名	決算額（千円） [執行率（%）]		活動指標①			活動指標②		
	令和3年度	令和4年度	R4目標値	R4実績値と達成状況	R4目標値	R4実績値と達成状況	R4目標値	R4実績値と達成状況
生涯学習推進費	1,128 [83.5]	1,240 [92.2]	生涯学習講座の講座数（講座）			サタデーキッズクラブの講座数（講座）		
			25	25	○	14	14	○
事業の有効性の評価	市民のニーズを踏まえて、多種多様で質の高い生涯学習講座及びサタデーキッズクラブを開催することにより、市民に充実した生涯学習環境を提供することができる。また、講座を通じて、地域づくりに貢献する人材の育成とともに、子どもの郷土文化に対する理解等を深めることができる。							
事業実施にあたり工夫した点	生涯学習講座及びサタデーキッズクラブの開催にあたっては、近隣市町及び民間の状況を鑑み、講座の内容を検討しながら事業費の縮減を図るとともに、講座内容を市民のニーズに合わせるなど質の向上に努めた。							
平和祈念式開催費	106 [99.4]	187 [99.9]	平和祈念式の参加者数（人）					
			300	—				
事業の有効性の評価	過去の戦争によって亡くなられた方々に対し、追悼の意を表するとともに、戦争の悲惨さ、平和の尊さを再認識し、恒久平和を祈念する。							
事業実施にあたり工夫した点	新型コロナウイルス感染症拡大のため、令和2年度以降平和祈念式を実施していないことから、例年8月に掲載している広報で過去の平和祈念式の記録写真を掲載することによって、平和の尊さを伝え、周知・啓発した。							
平和学習推進費	135 [99.4]	1,283 [99.6]	広島平和記念式典への参加児童数（人）					
			24	22	▲			
事業の有効性の評価	市立小学校6年生児童の代表者を広島平和記念式典へ派遣することにより、命の大切さ、平和の尊さを学ぶことができる。また、平和を願う書道作品や折り鶴の作成により、市内すべての児童、生徒が平和の尊さについて学ぶことができるとともに、作品及びパネルを市立図書館に展示することで市民に平和を啓発することができる。							
事業実施にあたり工夫した点	書道作品や折り鶴の作成事業を実施し、ヒロシマ・ナガサキ原爆と人間のパネルとともに市立図書館に展示し、平和の啓発に努めた。							
夢広場はるひ費	184,253 [99.6]	208,039 [99.1]	図書館の蔵書数（冊）			図書館で開催する各種イベントの参加者数（人）		
			152,000	162,952	◎	2,600	1,663人	▲
事業の有効性の評価	指定管理者の持つノウハウを活用して市立図書館を運営することにより、積極的な情報発信を通じて市民の図書館利用が促進されるとともに、様々な工夫をした企画の実施や蔵書の充実などにより、市民に充実した生涯学習環境を提供することができる。							
事業実施にあたり工夫した点	夢広場はるひについて、一括して指定管理者制度を導入していることにより、民間の柔軟なノウハウを生かした事業を展開することができるため、経費の削減を図りつつ充実したサービスの提供ができた。また、外部のあいち朝日遺跡ミュージアム、名古屋芸術大学、キリンビール（株）、キリンビバレッジ（株）など連携先を更に拡げワークショップ、セミナー等を行い、図書館への来館、利用促進を図った。							

V 施策の評価と今後の方向性

- 今後も市民ニーズの変化を的確に捉えて、生涯学習講座のコース設定等に努めていく。市民に知識や技術を伝えたい個人や団体に登録いただく「生涯学習人材バンク」の登録者は微増しており、引き続き生涯学習を担う地域人材の発掘や活用に取り組んでいく。また、「生涯学習人材バンク」の活用件数が少ないため、生涯学習講座などの機会を捉えて周知に努める。
- 市立図書館の管理・運営については、指定管理者においてこれまでの実績等を踏まえながら、外部・ボランティアとの連携強化、学校連携の拡大、電子図書館導入の検討など更なる図書館サービスの向上に努めていく。
- 公民館を含む社会教育施設について、公共施設等総合管理計画に基づく公共施設マネジメントの推進とあわせて、民間活力の活用についても検討していく。

令和5年度行政評価（令和4年度対象）シート

政策6 豊かなところとからだをはぐくむまちをつくる

施策602 文化・芸術活動の振興

主担当課：生涯学習課

○施策の目指す姿

文化や芸術にふれる機会が充実し、市民が生活の潤いや心の豊かさを実感できています。

○施策の展開

- 1 芸術劇場等の開催
- 2 地域の歴史・文化の啓発
- 3 文化・芸術活動を行う団体への支援
- 4 魅力ある美術館づくり
- 5 絵画トリエンナーレの開催

○令和5年度 事務事業評価実施事業（令和4年度対象）

- 1 文化活動費
- 2 文化協会補助金
- 3 夢広場はるひ費

I 施策の関連データ・施策を取り巻く状況

○施策の関連データ

美術館来館者数（人）※清須市調べ	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
	10,902	10,767	23,378	9,321	9,027
トリエンナーレ応募者数（人）※展覧会開催年※清須市調べ	第7回（平成24年度）	第8回（平成27年度）	第9回（平成30年度）	第10回（令和3年度）	
	491	506	637	370	

○施策を取り巻く状況（基本計画策定時からの変化など）

- 市民が良質な文化・芸術を鑑賞できる機会を提供するため、「芸術劇場」を毎年開催している。文化・芸術活動を行う各種団体においては、会員の高齢化が進行していることから、若い世代が文化・芸術にふれる機会づくりを積極的に行うことにより、文化・芸術活動を担う若い人材を育てる必要がある。
- はるひ美術館では、地域に根ざした芸術活動の拠点として、魅力ある美術館づくりを進めるとともに、その魅力を積極的に発信する必要がある。
- 公共施設個別施設計画に基づく予防保全型管理を推進するため、はるひ美術館のエレベーター改修を行う必要がある。
- 「清須市はるひ絵画トリエンナーレ」（夢広場はるひ絵画展、夢広場はるひ絵画ピエンナーレ）は、第10回展をもって休止している。

II 達成度指標の状況

※達成状況については、目標値を上回る見込…◎、目標値を達成見込…○、目標値の達成が難しい見込…▲、現状値を把握していない…とされている。

達成度指標	基準値	後期計画目標値	実績値			目標値の達成見込
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	
市民満足度調査における満足度	23.1% （平成30年度）	↑ （令和5年度）	—	21.1% （令和3年度）	—	—
美術館の来館者数	10,902人 （平成30年度）	17,000人 （令和6年度）	23,378人 （令和2年度）	9,321人 （令和3年度）	9,027人 （令和4年度）	▲

後期計画期間の達成状況の分析

- 令和4年度特別展では、国際的に活躍する現代美術作家を取り上げる挑戦的な展覧会となった。また、企画展では、はるひ絵画トリエンナーレをきっかけに収集した作品を基点として、現在も活躍する作家たちの受賞後の展開を追うことで公募展や作品収集の意義、創作の多様な可能性を考える展覧会とした。いずれも、来館者数が多くなく、芸術に対し興味関心が高い方が主に来館し、広く来館者が望める展覧会ではなかったと推察する。
- はるひ美術館来館者アンケートなどでは個人個人の満足度は高く、とくに地域ゆかりの作家に対する期待がうかがえた。

III 令和4年度の主な取組結果

- 【文化活動費】
 - 清須市文化協会との協力により例年実施する、納涼盆踊り、カラオケ発表会、文化展、芸能発表会については新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から盆踊りについては中止、他の行事については感染対策を行いながら開催した。
 - 芸術劇場「きよす歴史講談」を開催した。（参加者数84名）
 - 【夢広場はるひ費】
 - はるひ美術館で特別展・企画展等を開催した。以下は、その主な開催実績。
 - 特別展：「ON—ものと身体、接点から」
 - 企画展：「軌をたどる—5人の画家たちの『あれから』」、「清須ゆかりの作家 阿野義久展 生命形態—日常・存在・記憶—」、「清須市はるひ絵画トリエンナーレ アーティストシリーズVol.99~101」
 - 収蔵作品展：「『博覧会』にまつわる断片」

IV 事務事業評価

※達成状況については、目標値を上回る…◎、目標値を達成…○、目標値を下回る…▲としている。

事業名	決算額（千円） [執行率（%）]		活動指標①			活動指標②		
	令和3年度	令和4年度	R4目標値	R4実績値と達成状況		R4目標値	R4実績値と達成状況	
文化活動費	375 [75.0]	4,205 [99.9]	芸術劇場の観覧者数（人）			芸能発表会の観覧者数（人）		
			300	84 ▲		600	600	○
事業の有効性の評価	芸術劇場や芸能発表会、文化展、納涼盆踊りなど、市民に優れた文化・芸術鑑賞の機会を提供するとともに、各種市民団体の発表の場づくりを行うことにより、市民の文化・芸術活動の振興を図ることができる							
事業実施にあたり工夫した点	清須市文化協会などの市民団体と協力して事業を実施することにより、効率的な事業実施に努めた。							
文化協会補助金	2,562 [100.0]	2,121 [100.0]	文化協会の会員数（人）			文化協会の加盟クラブ数（団体）		
			1,010	1,010	○	84	75	▲
事業の有効性の評価	清須市の芸能文化の発展を積極的に展開する清須市文化協会の活動を支援することにより、市民の自主的な文化・芸術活動を促進することができる。							
事業実施にあたり工夫した点	清須市文化協会の各種活動に係る事業費に対して、補助金交付要綱に基づいて、適正に補助を行った。							
夢広場はるひ費	184,253 [99.6]	208,039 [99.1]	美術館の収蔵点数（点）			展覧会の開催回数（回）		
			236	231 ▲		6	5 ▲	
事業の有効性の評価	指定管理者の持つノウハウを活用してはるひ美術館を運営することにより魅力のある企画展の開催やそれに伴うイベントの実施などにより、市民が良質な芸術を鑑賞できる機会を提供することができる。							
事業実施にあたり工夫した点	20数年をかけてはるひ美術館が培ってきた魅力ある個性（親しみやすさや新進作家の発掘・顕彰など）を活かし、新たな発見や学びを得られるような良質な事業展開に努めた。							

V 施策の評価と今後の方向性

- 市民に優れた文化・芸術に触れる機会を提供するとともに、文化団体の育成などを通じて、文化活動の成果の発表機会の充実を推進しているものの、文化団体は高齢化が進んでいることから、今後も各種イベントを通じて、若者・子どもを含めた市民が身近に文化・芸術に触れる機会を積極的に提供していく。
- はるひ美術館の来館者の増加に向けて、1年に複数ある展覧会において、広く来館者が見込めるような展覧会を取り入れるなど、展覧会のあり方について、指定管理者とともに検討をしていく。
- また、はるひ美術館においては魅力ある展覧会の開催だけでなく、教育普及活動や収集・研究活動を推進し、地域の文化振興に努めていく。
- 芸術劇場や各種文化イベント、はるひ美術館で開催する企画展や講座など、市広報等を活用し積極的に情報発信し、参加者や文化協会の加盟者の維持・増加に努める。

令和5年度行政評価（令和4年度対象）シート

政策6 豊かなところとからだをはぐくむまちをつくる

施策603 文化財保護の推進

主担当課：生涯学習課

○施策の目指す姿

市内に存在する文化財の保存と活用が適切に行われ、地域の歴史・文化が継承・発信されています。

○施策の展開

- 文化財の適切な保護
- 文化財保護の啓発
- 歴史資料の公開・展示
- 指定文化財の修理等への支援
- あいち朝日遺跡ミュージアムとの連携

○令和5年度 事務事業評価実施事業（令和4年度対象）

- 文化財保護事業費
- 歴史資料展示室費
- 指定文化財補助金

I 施策の関連データ・施策を取り巻く状況

○施策の関連データ

歴史資料展示室来場者数（人）※ 清須市調べ	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
	15,772	12,425	5,835	7,583	9,597
文化財講演会の参加者数（人）※ 清須市調べ	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
	40	69	30	—	34

○施策を取り巻く状況（基本計画策定時からの変化など）

- 毎年開催している文化財講座や文化財講演会においては、一定の参加者があり、地域の文化財や歴史・文化資源に対する関心は高い状況にある。
- 図書館内の歴史資料展示室では、多様な企画展示により、市民が文化財にふれる機会を提供している。
- 高齢化の進行などにより、山車をはじめとする文化財を後世に継承する担い手が不足している。
- 県は、朝日遺跡の価値・魅力の発信や文化活動、地域連携の拠点とするため、平成28年3月に「愛知県清洲貝殻山貝塚資料館拡充整備基本構想」を策定し、令和2年11月にあいち朝日遺跡ミュージアムをオープンした。
- 市指定文化財は29件となっている。

II 達成度指標の状況

※達成状況については、目標値を上回る見込…◎、目標値を達成見込…○、目標値の達成が難しい見込…▲、現状値を把握していない…とされている。

達成度指標	基準値	後期計画 目標値	実績値			目標値の 達成見込
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	
市民満足度調査における満足度	23.7% (平成30年度)	↑ (令和5年度)	—	26.7% (令和3年度)	—	—
歴史資料展示室の来場者数	15,772人 (平成30年度)	20,000人 (令和6年度)	5,835人 (令和2年度)	7,583人 (令和3年度)	9,597人 (令和4年度)	○

後期計画期間の達成状況の分析

■ 歴史資料展示室の来場者数は、全体を通してみると昨年度よりは増加したが基準値と比較すると来場者数は少ない。これは、清須市図書館の入館者数と相関があり、清須市図書館の来館者数が回復してくると来場者数も増加してくると考える。

III 令和4年度の主な取組結果

- 【文化財保護事業費】
- 文化財講演会「西枇杷島の山車まつり」を開催し34名が参加した。
- 文化財講座を開催した（全4回、参加者延べ163人）。
- 県と共催で歴史講演会・ミニシンポジウム「尾張と東尾張の首長墓-断夫山古墳と馬越長火塚古墳群の最新発掘調査成果から見えてくるもの-」を開催した。（参加者数128名）
- 【歴史資料展示室費】
- 歴史資料展示室で「尾張西枇杷島まつりー山車まつりの語り部たちー」、「集めるーコレクションの世界ー」、「新出土品展ー清洲城下町遺跡近年の発掘調査からー」の年間3回の企画展を開催した。
- 【指定文化財補助金】
- 市指定文化財に対して、問屋町頼朝車など、修理4件、管理13件、公開12件、保存施設整備1件を対象として補助を実施した。

IV 事務事業評価

※達成状況については、目標値を上回る…◎、目標値を達成…○、目標値を下回る…▲としている。

事業名	決算額（千円） [執行率（%）]		活動指標①			活動指標②		
	令和3年度	令和4年度	R4目標値	R4実績値と達成状況		R4目標値	R4実績値と達成状況	
文化財保護事業費	147 [63.2]	206 [89.0]	文化財講座の開催回数（回）			文化財講演会の参加者数（人）		
			4	4	○	150	34	▲
事業の有効性の評価	市内全域に存在する様々な文化財を保護するとともに、文化財講座などの啓発事業を実施することにより、市民が郷土の文化財の素晴らしさを再認識し、地域の歴史や文化に対する理解や文化財保護の意識を高めることができる。							
事業実施にあたり工夫した点	文化財講座や講演会の講師については、県文化財室や県埋蔵文化財センターなどの関係機関と連携するなど、効率的な事業実施に努めた。							
歴史資料展示室費	1,496 [99.8]	1,424 [99.5]	企画展の開催日数（日）					
			260	250	▲			
事業の有効性の評価	燻蒸の実施など、適切な保存を行うことにより、歴史資料の劣化を防止することができる。また、歴史資料展示室において企画展を開催し、市民が歴史資料にふれる機会を提供することにより、市民の文化財に対する関心を高め、地域の歴史・文化の継承につなげることができる。							
事業実施にあたり工夫した点	寄贈され市所有となった文化財資料などを活用して展示を行うなど、効率的な事業実施に努めた。企画展の開催日数は若干目標値を下回った。							
指定文化財補助金	2,482 [90.9]	9,035 [97.3]	指定文化財の修理に対する補助件数（件）			指定文化財の管理に対する補助件数（件）		
			6	4	▲	18	13	▲
事業の有効性の評価	指定文化財の修理、管理、公開、保存施設整備に係る費用に対して補助金を交付することにより、指定文化財を適切な状況で維持することが可能となり、貴重な文化資源の保存・継承が図られ、市の歴史・文化を市内外に発信することができる。							
事業実施にあたり工夫した点	文化財所有者に随時助言・指導を行いながら、補助金交付要綱に基づいて、適正に補助を行った。修理補助に関しては、事前に修理計画書の提出を受けることにより、計画的な修繕に努めた。なお、修理件数は、所有者の修理計画、指定文化財の保存状況によって申請されるものであり、管理補助金は民間所有指定文化財の所有者から市施設への寄託等による辞退もあるため、目標値を下回った。							

V 施策の評価と今後の方向性

- 文化財に関する講座等は受講者に大変好評だったことから、引き続き県文化財室など他機関と連携して文化財講演会・講座を開催し、郷土の歴史・文化の発信や郷土愛の高揚を図る。
- 今後も資料の適切な保全を図るとともに、市民に郷土の歴史・文化に触れる機会を提供するため、歴史資料展示室で企画展を開催する。
- 令和2年度にオープンしたあいち朝日遺跡ミュージアムについて、地元として県と一体となって盛り上げるため、ミュージアムと連携し、朝日遺跡の紹介やミュージアムの周知を目的に、文化財講座や歴史講演会・ミニシンポジウム（共催事業）を連携して実施した。今後も文化財講座や講演会等を活用し、県と連携して朝日遺跡やあいち朝日遺跡ミュージアムの積極的な周知を図る。

令和5年度行政評価（令和4年度対象）シート

政策6 豊かなところとからだをはぐくむまちをつくる

施策604 スポーツ・レクリエーション活動の振興

主担当課：スポーツ課

○施策の目指す姿

スポーツ・レクリエーションの普及と振興を通じて、健康で豊かな市民生活がはぐくまれています。

○施策の展開

- 1 スポーツの普及に向けた取組の推進
- 2 市民体育祭等の開催
- 3 清須ウオークの実施
- 4 スポーツ活動を行う団体への支援
- 5 総合型地域スポーツクラブへの支援
- 6 スポーツ・レクリエーション施設の管理・運営

○令和5年度 事務事業評価実施事業（令和4年度対象）

- 1 清須ウオーク費
- 2 体育協会補助金
- 3 清洲勤労福祉会館費
- 4 新川地域文化広場費

I 施策の関連データ・施策を取り巻く状況

○施策の関連データ

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
アルコ清洲利用者数（人） ※清須市調べ	294,686	296,867	100,119	134,961	254,671
カルチャ新川利用者数（人） ※清須市調べ	97,114	95,673	51,730	74,005	98,073

○施策を取り巻く状況（基本計画策定時からの変化など）

- 清須ウオーク、市民体育祭、市民ソフトボール大会、体育協会主催の市民大会などの各種スポーツ事業を展開し、スポーツを通じた市民交流を図る機会を提供している。市民の自主的なスポーツ活動の促進及びスポーツを楽しむことができる環境づくりの推進にあたっては、総合型地域スポーツクラブ「きよすスポーツクラブ」が大きな役割をはたしており、財政面や運営面の支援をしている。
- アルコ清洲、カルチャ新川及び春日B&G体育館などの体育施設は、老朽化が進んでいるため、順次適正な改修・大規模な修繕を行っている。

II 達成度指標の状況

※達成状況については、目標値を上回る見込…◎、目標値を達成見込…○、目標値の達成が難しい見込…▲、現状値を把握していない…ーとしている。

達成度指標	基準値	後期計画 目標値	実績値			目標値の 達成見込
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	
市民満足度調査における満足度	26.3% (平成30年度)	↑ (令和5年度)	—	23.3% (令和3年度)	—	—
週1回以上スポーツ・レクリエーション活動を行っている市民の割合	20.0% (平成30年度)	↑ (令和5年度)	—	21.9% (令和3年度)	—	—
総合型地域スポーツクラブの会員数	361人 (平成30年度末)	500人以上 (令和6年度末)	211人 (令和2年度末)	274人 (令和3年度末)	335人 (令和4年度末)	▲

後期計画期間の達成状況の分析

- 市民満足度調査における満足度については3.0ポイント減少しているが、コロナ禍でスポーツイベントの多くが中止となったことが要因と考えられる。
- 週1回以上のスポーツ・レクリエーション活動を行っている市民の割合については、1.9ポイント増加しており、これはスポーツ推進委員によるスポーツの普及・啓発などの活動によるものと考えられる。
- 総合型地域スポーツクラブの会員数は、平成29年度から年々減少傾向にあったが、新型コロナウイルスの蔓延も落ち着き、若干であるが会員が増え始めている状況である。今後は現行の人気種目に加え、新しい種目を増やすことで新規会員の増加を図っていく。

III 令和4年度の主な取組結果

- 【清須ウオーク費】
清須ウオークを11月・翌3月に開催（参加者11月：263名、翌3月：412名）
- 【清洲勤労福祉会館費】
外灯照明LED化工事、男女更衣室防火扉改修工事、プール天井換気扇更新工事を実施した。
- 【地域文化広場費】
プールサイド及びプール槽等改修工事、給水加圧ポンプ等改修工事を実施した。
- 【その他】
新型コロナウイルスの影響で中止していたスプリングフェスティバル、各地区体育祭、清須ウオークを開催した。

IV 事務事業評価

※達成状況については、目標値を上回る…◎、目標値を達成…○、目標値を下回る…▲としている。

事業名	決算額（千円） [執行率（%）]		活動指標①			活動指標②		
	令和3年度	令和4年度	R4目標値	R4実績値と達成状況		R4目標値	R4実績値と達成状況	
清須ウオーク費	1,590 [41.4]	2,892 [76.4]	清須ウオークの開催回数（回）			清須ウオークへの協力団体数（団体）		
			2	2	○	9	7	▲
事業の有効性の評価	清須ウオークは、市のイベントとして定着しつつ、その認知度を活かして、市の魅力を市内外の全年齢層の方にも知らせてあげることができ、さらに健康増進のためにウォーキングの機会を提供することができる。また、スポーツの普及・振興につなげることができる。							
事業実施にあたり工夫した点	協力団体の人材を運営スタッフとして登用し、コース内の要所に配置をした。また、市内の御朱印がもらえる寺院をコースマップ上に「清須市のみどころ」として記載し、清須市の魅力を発信した。さらに、市内の他の行事と同時開催することで、相互のにぎわいに寄与することができた。							
体育協会補助金	5,494 [100.0]	5,340 [100.0]	体育協会の会員数（人）			体育協会の主催大会数（大会）		
			2,300	1,936	▲	23	22	▲
事業の有効性の評価	スポーツの普及・振興活動や健康で豊かな市民生活を展開している清須市体育協会の運営支援を行うことにより、スポーツを通して快適で魅力あるまちづくりに寄与することができる。							
事業実施にあたり工夫した点	新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策も含め各種活動に係る事業費に対し、適正な運営支援を行った。							
清洲勤労福祉会館費	250,977 [87.0]	156,311 [97.2]	アルコ清洲の利用者数（人）			指定管理者が行う自主事業数（事業）		
			330,000	254,671	▲	70	65	▲
事業の有効性の評価	本市で最も利用者の多いスポーツ施設であるアルコ清洲の温水プールについて、指定管理者制度を活用して様々な自主事業を実施することにより、市民の健康増進・体力向上に寄与するとともに、市民の交流を促進することができる。							
事業実施にあたり工夫した点	指定管理者が有するノウハウを十分に活用して施設管理を行うことにより、コストの削減を図り、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じながら、市民に対するサービス向上を図ることができた。							
新川地域文化広場費	122,919 [98.9]	129,957 [99.3]	カルチャ新川の利用者数（人）			指定管理者が行う自主事業数（事業）		
			100,000	98,073	▲	23	19	▲
事業の有効性の評価	温水プールやアスレチックジムなどを有する体育施設であるカルチャ新川について、指定管理者制度を活用して様々な自主事業を実施することにより、市民の健康増進・体力向上に寄与するとともに、市民の交流を促進することができる。							
事業実施にあたり工夫した点	指定管理者が有するノウハウを十分に活用して施設管理を行うことにより、コストの削減を図り、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じながら、市民に対するサービス向上を図ることができた。							

V 施策の評価と今後の方向性

- 清須ウオークについて、令和4年度は感染防止策を十分に講じ、工夫を凝らした「新たなスタイル」での開催となり、多数の市民に参加いただけた。今後はより変化に富んだ開催を検討・企画していく必要がある。
- 総合型地域スポーツクラブ「きよすスポーツクラブ」においては、財政面・運営面において自主運営できるよう促し、クラブの財源状況に見合った助成について検討していく。
- アルコ清洲・カルチャ新川については、指定管理者制度により民間経営の発想やノウハウを活かした市民サービスの向上を図ることができている。春日B&G体育館については、建物・設備の老朽化が進んでいるため、令和5年度に改修工事を予定している。
- 各地区ごとで開催している「市民体育祭」や地区対抗で行う「市民ソフトボール大会」は、少子高齢化の進展や生活様式の変化により、出場者集めが一部地域で自治会役員の負担となっており、参加自治会が減少している地区があるため、運営の仕方を検討する必要がある。

令和5年度行政評価（令和4年度対象）シート

政策6 豊かなところとからだをはぐくむまちをつくる

施策605 国際交流の振興

主担当課：生涯学習課

○施策の目指す姿

市民参加による国際交流が進展し、子どもから高齢者まで幅広い年齢層において国際理解に対する関心が高まっています。

○施策の展開

- 1 国際交流に関するイベントの開催
- 2 国際理解の啓発
- 3 国際交流活動を行う団体への支援

○令和5年度 事務事業評価実施事業（令和4年度対象）

- 1 国際交流費
- 2 国際交流協会補助金

I 施策の関連データ・施策を取り巻く状況

○施策の関連データ

在住外国人数（人）※清須市調べ （各年4月1日）	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
	1,695	1,852	1,800	1,822	1,954
きよす国際交流まつり（旧インターナショナルパーティー）参加者数（人）※清須市調べ	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	364	—	—	—	220

○施策を取り巻く状況（基本計画策定時からの変化など）

- 訪日外国人旅行者や外国人労働者が増加する中、国際理解の一層の促進が求められている。
- 本市は、スペイン・ヘレス市と友好姉妹都市提携を結んでいることから、スペイン人の国際交流員によるスペインの生活・文化の紹介やスペイン語講座、市立小学校及び保育園・幼稚園における国際理解授業などを通じて、国際理解の啓発に取り組んでいる。
- また、国際交流活動を積極的に展開する清須市国際交流協会では、市と連携して、各種講座や外国語教室、外国人を対象とした日本語教室（日本語ひろば）などを開催することで、市民参加による国際交流の進展を図っている。
- 清須市における在住外国人数は、近年一時期減少した年もあったが増加傾向にある。平成31年4月の改正出入国管理法の施行、特定技能2号の受入れ対象の拡大などに伴って、今後もその傾向が続くことが予想されるため、生活や言語支援の体制の整備・拡充や、国籍に関わらず市民としての基本的サービスを受けることができる環境づくりなどについても、より推進していく必要がある。

II 達成度指標の状況

※達成状況については、目標値を上回る見込…◎、目標値を達成見込…○、目標値の達成が難しい見込…▲、現状値を把握していない…—としている。

達成度指標	基準値	後期計画 目標値	実績値			目標値の 達成見込
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	
市民満足度調査における満足度	15.8% （平成30年度）	↑ （令和5年度）	—	13.9% （令和3年度）	—	—
市や市国際交流協会が実施する国際交流に関する講座・イベント等を知っている市民の割合	24.7% （平成30年度）	↑ （令和5年度）	—	23.9% （令和3年度）	—	—

後期計画期間の達成状況の分析	<ul style="list-style-type: none"> ■ 令和4年度の市国際交流協会のイベント等の活動に関しては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、食文化講座・ホームステイ・ビジットなど一部中止になった事業もあるが、感染対策を講じたり事業形態を変更して実施するなどし多くの事業を行うことができた。 ■ 令和4年度は「多文化共生サロン」を開催し、市内の外国籍の方と、清須市での生活のことや困っていること等、自由に話しをする場を設け、多文化共生には何が必要かを知る機会とすることができた。
----------------	--

III 令和4年度の主な取組結果

- 【国際交流費】
国際交流員によるスペイン語入門、国際理解講座、市立小学校・幼稚園及び保育園における国際理解授業などを実施した。
- 【国際交流協会補助金】
清須市国際交流協会の活動に対する支援及び補助を実施した。
- 国際交流協会が実施する主な事業：きよす国際交流まつり（令和3年度までのインターナショナルパーティー及び外国の遊びと日本文化体験を併合）、食文化講座、国際理解講座、外国料理教室、外国の遊びと日本文化体験、外国語教室（英会話・スペイン語）、日本語教室、ユニセフコインの募金活動など。
- ※ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、食文化講座・ホームステイ・ビジットなど一部事業を中止した。

IV 事務事業評価

※達成状況については、目標値を上回る…◎、目標値を達成…○、目標値を下回る…▲としている。

事業名	決算額（千円） [執行率（%）]		活動指標①			活動指標②				
	令和3年度	令和4年度	R4目標値	R4実績値と達成状況	R4目標値	R4実績値と達成状況	R4目標値	R4実績値と達成状況		
国際交流費	113 [87.8]	79 [80.1]	学校等における国際理解授業の実施回数（回）	95	91	▲	友好姉妹都市提携に基づくスペイン関連事業の参加者数（人）	60	73	◎
事業の有効性の評価	友好姉妹都市提携を結ぶスペイン・ヘレス市に関連した講座や、小学生、保育園及び幼稚園児を対象とした国際理解授業の実施などにより、幅広い年齢層の市民の国際理解に対する関心を高めることができる。									
事業実施にあたり工夫した点	市内の小中学校及び幼稚園を訪問して国際理解授業を実施することにより、子どもの国際理解に対する関心を深めることができた。新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため授業内容を接触や飛沫のないように実施した。									
国際交流協会補助金	400 [100.0]	400 [100.0]	国際交流協会の個人会員数（人）	220	195	▲	国際交流協会が主催する講座等の事業数（事業）	7	6	▲
事業の有効性の評価	様々な国際交流事業を実施する清須市国際交流協会の活動を支援することにより、市民参加による国際交流の進展を図ることができる。									
事業実施にあたり工夫した点	清須市国際交流協会の各種活動に係る事業費に対して、補助金交付要綱に基づいて、適正に補助を行った。									

V 施策の評価と今後の方向性

- 友好姉妹都市提携を結ぶスペイン・ヘレス市に関連して、スペインの生活や文化を紹介するなど、引き続き幅広い年齢層が国際理解に対する関心を高めることができるような魅力ある事業の実施に努める。また、市立小学校、保育園・幼稚園で行う国際理解授業などでは、幼い頃から国際感覚を養う環境を整える。
- 市が実施する講座などの国際交流事業については、引き続き広報紙やホームページを通じて周知を図るとともに、認知度の向上に向けて、より効果的な周知方法を検討する。
- 市民間での国際交流活動において中心的な役割を担う清須市国際交流協会については、その活動が活性化されるよう、引き続き連携を図りながら支援を行う。
- 社会経済情勢の変化などに伴って、今後も在住外国人が増加し続けることを見据えて、外国人住民に対する日常生活のサポート体制の充実や情報提供手段の拡充など、多文化共生社会の実現に向けた取組を実施していく。

令和5年度行政評価（令和4年度対象）シート

政策6 豊かなところとからだをはぐくむまちをつくる

施策606 男女共同参画社会の推進

主担当課：生涯学習課

○施策の目指す姿

男女共同参画社会の重要性について市民一人ひとりの理解が深まり、社会のあらゆる分野において男女が互いに理解し、個人としての個性と能力を発揮できる環境が整っています。

○施策の展開

- 1 男女共同参画社会の啓発
- 2 男女共同参画推進懇話会の開催
- 3 相談支援体制の充実
- 4 委員会・附属機関等への女性の登用促進
- 5 特定事業主行動計画の推進
- 6 女性の社会参加等を推進する団体への支援

○令和5年度 事務事業評価実施事業（令和4年度対象）

- 1 男女共同参画社会推進費
- 2 女性の会補助金

I 施策の関連データ・施策を取り巻く状況

○施策の関連データ

男女共同参画講演会の参加者数（人）※清須市調べ	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
	147	184	—	—	124
市の委員会・附属機関等における女性委員の割合（％）※清須市調べ（各年4月1日）	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
	33.9	34.6	32.2	33.0	37.7

○施策を取り巻く状況（基本計画策定時からの変化など）

- 社会環境が大きく変化する中、多様性に富んだ活力ある社会を形成していくためには、男女共同参画社会の実現が重要となっている。女性が活躍できる社会、男性が家事に入り込める社会、人権を尊重し合える社会などを実現するために更なる啓発に取り組む必要がある。
- 男女共同参画推進懇話会において、職員や委員会の女性登用率やワークライフバランスを数値化し、現状を把握している。また、各課の取組状況においても現状把握をしている。
- 男女共同参画社会の実現に向けて、広く市民に啓発をするため、強化月間に併せて講演会を実施している。また、講演会場のロビーでは、男女共同参画についての理解を推進するための啓発パネルを掲示している。
- 令和4年3月に第2次男女共同参画プランを策定し、あらゆる分野における男女共同参画を総合的かつ計画的に推進している。

II 達成度指標の状況

※達成状況については、目標値を上回る見込…◎、目標値を達成見込…○、目標値の達成が難しい見込…▲、現状値を把握していない…—としている。

達成度指標	基準値	後期計画目標値	実績値			目標値の達成見込
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	
市民満足度調査における満足度	13.8% (平成30年度)	↑ (令和5年度)	—	14.5% (令和3年度)	—	—
社会全体で男女が平等であると思う市民の割合	22.5% (平成30年度)	↑ (令和5年度)	—	22.9% (令和3年度)	—	—
市の委員会・附属機関等における女性委員の割合	33.9% (平成31年4月1日)	↑ (令和7年4月1日)	34.6% (令和2年4月1日)	32.2% (令和3年4月1日)	33.0% (令和4年4月1日)	○

後期計画期間の達成状況の分析

- 男女共同参画社会の実現に向けては、学識経験者・関係団体・市民代表者等と男女共同参画推進懇話会を年1回実施し、その内容を踏まえて市民への啓発を行っている。また、男女共同計画の考え方を市民に周知する男女共同参画講演会の開催など、男女共同参画に係る市民の意識を高めるための取組を引き続き進めていく。

III 令和4年度の主な取組結果

- 【男女共同参画社会推進費】
- 男女共同参画推進懇話会を1回開催し、市委員会等の女性登用率や各課の取組状況などを洗い出し、男女共同参画の今後の進め方などを協議した。
- 清洲市民センターにおいて男女共同参画講演会を開催し、開催男女共同参画社会の実現に向けて啓発を図ることにより、市民の認識を深めることができた。
- 【女性の会補助金】
- 清須市女性の会の活動として、女性の文化教養を高めるための事業や、社会の福祉に貢献する事業に対する協力、各種ボランティア活動、健康教室などを実施した。

IV 事務事業評価

※達成状況については、目標値を上回る…◎、目標値を達成…○、目標値を下回る…▲としている。

事業名	決算額（千円） [執行率（％）]		活動指標①			活動指標②				
	令和3年度	令和4年度	R4目標値	R4実績値と達成状況	R4目標値	R4実績値と達成状況	R4目標値	R4実績値と達成状況		
男女共同参画社会推進費	116 [85.1]	338 [76.1]	男女共同参画講演会の参加者数（人）	350	124	▲	男女共同参画推進懇話会の開催回数（回）	2	1	▲
事業の有効性の評価	男女共同参画社会の実現に向けて、男女共同参画講演会の実施などによる啓発を図ることにより、市民の認識を深めることができる。また、男女共同参画推進懇話会を開催することにより、今後の事業展開について、有識者等からの意見を踏まえた改善を図ることができる。									
事業実施にあたり工夫した点	新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、定員数を減少して開催し混雑を避けることで、安心して参加できる会場の運営に努めた。									
女性の会補助金	1,415 [100.0]	1,265 [100.0]	女性の会の会員数（人）	615	491	▲	女性の会が主催する講座等の事業数（事業）	7	7	○
事業の有効性の評価	文化教養を高めるとともに、社会奉仕の意識向上を積極的に展開する女性の会の活動を支援、協力することにより、女性の幅広い視野と社会参加の意識を高めることができる。また、生涯学習を通じて生きがいのある心豊かな生活を育むことに寄与することができる。									
事業実施にあたり工夫した点	清須市女性の会の各種活動に係る事業費に対して、補助金交付要綱に基づいて、適正に補助を行った。									

V 施策の評価と今後の方向性

- 男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる社会の実現に向けて、様々な機会を通じて市民の男女共同参画に対する意識の向上を図るため、今後も現在の事業を継続して行っていく。
- 国の施策の方向性の中でも女性活躍についての施策が積極的に進められており、男女共同参画社会の実現に向けた取組の重要性が高まっている中で、様々な活動において女性の登用を高めるなど、市としても引き続き男女共同参画懇話会における議論の内容を踏まえて、施策の目指す姿の実現に向けた取組を進める。